

5月12日(土曜日)午後1時から4時30分まで、広島県庁講堂にて当センター主催による開設記念 HbpMS セミナー『医療介護総合確保の中核…地域包括ケアシステムのマネジメントを考える』を開催いたしました。

本記念セミナーでは現在わが国が迎えている本格的な人口減少・高齢化時代に対応すべく国が示す医療介護総合確保推進の中心課題のひとつである地域包括ケアシステムの構築なるものが「経営の眼」にはどのように映るかを問う試みでした。そしてこの学びの機会を本研究センターの使命とする「医療介護総合確保推進のための制度政策や事業経営のマネジメント人材養成の研究と実践」の端緒にしようという趣旨で企画いたしました。

地域包括ケアシステムなるものは、半世紀前、本県の中山間地にある旧御調町の小さな国保病院に院長として赴任された山口昇先生(当センター顧問、公立みつぎ総合病院名誉院長・特別顧問)が、既に人口減少・高齢化が始まっていたこの地域の医療課題に取り組み、その実践の中で「保健・医療・福祉を連携させていく」必要性・重要性を訴えるべく考えつかれた言葉が「地域包括ケアシステム」でした。

セミナー会場は満杯となる200名余りが集い、センター運営相談役の栗栖本学事務局長の開会の辞に続き、中村学長ほかのご挨拶の後、ご来賓の湯崎知事から HBMS のヘルスケアマネジメント人材養成の期待についてお言葉をいただきました。

そして冒頭の記念講演では、山口先生と医学生時代からのご朋友の岩崎榮先生(日本医科大学名誉教授)が、卒後臨床研修評価機構専務理事のお立場から「地域包括ケア・マインドの医師の育成は急務!!」をご講義くださり、国は2005年以来「地域包括ケアシステム」という用語を法令に使うようになっていて、医師育成の卒前から生涯にわたる全過程に「地域包括ケア学習プログラム」を組み込む必要性がある旨をご説明してくださいました。

続くパネルディスカッション「地域包括ケアシステムのマネジメント…社会システムデザイン論からシステム構築と運営を考える」では、パネリストの山口昇先生がご体調を崩されたためご登壇がかなわず、西田センター長が山口先生から届いた「地域包括ケアシステムは医療改革、社会改革と同じ意味を有している」旨を説明するメッセージを代読するとともに、尾道市公立みつぎ総合病院の沖田光昭院長が代理で「地域包括



ケアシステムの創出者が見るマネジメント課題」をご説明くださいました。そして前厚生労働省医政局長の神田裕二先生(当センター顧問、HBMS 特任教授)から「地域自らつくる包括ケア～医療から見た課題」として、地域医療構想と地域包括ケアは車の両輪であり、地域包括ケアシステム構築につながる介護保険事業計画の策定過程では「地域マネジメント」の手法が制度化されたものの医療部分は弱いため、マネジメントの主体である市町村自らも考えることが必要と問題提起された。そして、これらの説明や解説の上で HBMS の横山研究科長が長年考究される社会システムデザインの思考方法を披瀝していただき、医療介護総合確保推進という重要政策と「経営の眼」による課題の設定についてのディスカッションへと進みましたが、時間一杯となって盛況のうちに終了いたしました。

なお、当日は静岡県立大学地域経営研究センターとの間をインターネットで結ぶ電子会議システムの同時中継によって、同センターの社会人学習講座に集う静岡県内公的病院の病院長方をはじめとする医療関係者や同県内自治体関係者の方々約20人が参加され、パネルディスカッションへの感想や質問をお寄せくださいました。

研究センター開設記念HbpMSセミナー

医療介護総合確保の中核
地域包括ケアシステムのマネジメントを考える

日 5月12日 13:00~16:30 定員 160名
場所 広島県庁講堂 広島市中区基町10番52号 夢加庵別

記念講演

地域包括ケア・マインドの医師の育成は急務!!
～医師育成の早射から生涯にわたる全過程に「地域包括ケア学習プログラム」を組み込む必要がある～

岩崎 榮先生 (卒後臨床研修評価機構JCEP専任理事、日本医科大学入試課長、元群馬大学学長(教授))



パネルディスカッション

地域包括ケアシステムのマネジメント

～社会システムデザイン論からシステム構築と運営を考える～

コーディネーター

西田 在寛 センター長 (HBMS副学長、ヘルスマネジメント分野担当)

パネリスト

山口 裕二 センター顧問 (HBMS専任理事、広島市労働保健所長、元厚生労働省医事監事局長)

山口 昇 センター顧問 (公立中核大学協会の幹事長、元広島県地域包括ケア推進センター長)

鶴山 健彦 HBMS研究科長 (東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム責任者、元マッキンゼー・日本支社社長)

スケジュール

13:00 開演

基幹セミナー 演題 岩崎 榮先生

13:20 ~ 14:00

14:00 ~ 14:15

14:15 ~ 16:25

16:30 閉会

HbpMSca

HBMS+HBMS (Health Policy and Management School+Health Policy and Management Studies)
医療経営学 (Health Policy and Management) の発展から、さらに社会や地域の発展政策、医療介護総合確保の推進に資する研究を推進する機関としてHBMS
地域医療経営プロジェクト研究センター (HBMS Commons for Health Policy and Management Studies) を開設いたしました。
このための研究・政策や事業推進のマネジメントに必要となる人材育成の発展につなげていきます。

申し込み方法

申込締切:平成30年5月1日(火)
HBMSのウェブサイトまたはお電話にてお申し込みください。



研究センター開設記念HbpMSセミナー

医療介護総合確保の中核 地域包括ケアシステムのマネジメントを考える

このたびは県立広島大学の専門職大学院経営管理研究科(HBMS, Hiroshima Business and Management School)のいよいよ
ビジネススクールでは、設立時より進めようとしてきたヘルスマネジメント人材育成を推進する機関としてHBMS
地域医療経営プロジェクト研究センター (HBMS Commons for Health Policy and Management Studies) を開設いたしました。
これを記念して医療経営研究セミナーを開催いたします。

本センター長を務める私は、以前、専門医にわが国地域包括ケア(社会保険労務No.2562-1B-22,
No.2563-22-28,2014年)なる称号を授けられました。これは、2012年4月に国の法令により全国の市町
村において地域包括ケアシステムの構築に取組むことになったにもかかわらず、ほとんどの自治体で同シス
テムの構築が進まず、厚生労働省のシグナリング、医療経済研究機構が2013年4月に公表した調査で「都道府
県・広域単位の機関・組織の設置も含めて、「地域包括ケア」概念の見直しが進められている」との報
告もあり、そのような状況の中で地域包括ケアシステム構築に賛同して私が2011年秋から2013年秋までの
2年間に医療介護に従事する専門医や関係の研究者、行政関係者が集う大小様々な政策研究会を8回にわ
たって企画開催し、同システムの構築とマネジメント課題についての考察を醸成したものでした。ちなみにこの
醸成では決して結論がなかったわけではなく、地域包括ケアシステムの構築推進研究の中間報告でした。

あれから4年を経た今、研究の場が広島に移り、おかげで地域包括ケアシステムの創出者である山口昇先生
(公立みづき総合病院名誉院長・特別顧問)の筆跡に接することができ、所属する県立広島大学経営管理
研究科(HBMS研究科)長の鶴山健彦先生(東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム責任者、元マッキ
ンゼー・日本支社社長)が長年にわたり社会システムデザインを研究されてきたことから、このたび本学で開設認可
されましたHBMS地域医療経営プロジェクト研究センターの記念セミナーにおいて地域包括ケアシステムの構
築の實踐と理論の両面から考え、改めて地域包括ケアシステムのマネジメントについて考えることで、本研
究センターの使命として「医療介護総合確保推進のための制度政策や事業経営のマネジメント人材育成の研
究と実践」の発展にしたいと考えます。

本セミナーでは、私の部であり、センター顧問の山口昇先生のご朋友であられます岩崎榮先生(卒後臨床研
修評価機構JCEP専任理事)から地域包括ケア・マインドを拓く医師の養成が急がれる旨のお考えをたまわりま
した上で、許諾まで医療介護総合確保推進において地域包括ケアシステム構築と再編を促す地域医療機構の
進捗を担った前厚生労働省医政局長で当センター顧問の神田裕二先生から、市町村がもっと主体的に開
いて地域に合った包括ケアを考えてシステムを築いていく必要がある今の健康政策をいただきます。続いて
地域包括ケアシステムの名付けの経緯であり、長年わたって同システムの構築を推進される山口昇先生からサ
ステムの課題等をお聞きし、また同システム構築にかなってよりご関心を向けられる鶴山先生から社会シ
ステムデザインのアプローチをご提示いただいたのちに討議に入りたいと考えます。

本分野にご関心のある皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

2018年5月12日(土)

HBMS地域医療経営プロジェクト研究センター長 西田 在寛